

# 社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会 法人化50周年記念誌





# 目 次

五十年のあゆみ	
法人化50周年にあたって	
多摩市社会福祉協議会会長	P 1
多摩市長	P 2
多摩市社協50th History (あゆみ)	P 3
10年間における多摩市社協の新たな取り組み	P 8
ありがとうメッセージ	P 10
多摩市社協構成・組織	P 16
多摩市社協事業紹介	
地域福祉推進委員会	P 17
ふれあい・いきいきサロン	P 18
たすけあい有償活動	P 18
多摩ボランティア・市民活動支援センター	P 19
災害時に備えた取り組み	P 19
子ども・若者支援の取り組み	P 20
多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）の取り組み	P 22
権利擁護事業	P 23
福祉に関する普及啓発事業	P 24
多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会	P 25
社協活動の財源確保に関わるイベントなど	P 26
会員加入（会員賛助金）	P 27
寄付金	P 27
共同募金運動	P 28
車いすの無料貸出	P 28
貸付事業	P 28
障がい者地域活動支援センター「あんど」	P 29
同行援護事業	P 30
意思疎通支援事業	P 30
広報活動	P 31
編集後記	P 32

「つながり 支えあい 安心するまちづくり」を目指して

多摩市社会福祉協議会

会長 紀 初子



多摩市社会福祉協議会は、昭和48年（1973年）7月23日に社会福祉法人としての認可を受け、今年度50周年を迎えました。

この50年間、多摩市社会福祉協議会を支えてくださった会員の皆様、民生・児童委員の皆様、自治会・住宅管理組合、地域の関係団体、ボランティアの皆様、役員、評議員、活動協力員の皆様、そして応援していただいているすべての皆様に心から感謝申し上げます。

多摩市社会福祉協議会は、設立以来50年間、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念に邁進してまいりました。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の流行により、社会的環境及び私たちの生活環境は大きな影響を受けました。直接の対面での活動が難しい環境の長期化は、人と人とのつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。

多摩市社会福祉協議会では、令和4年度に多摩市の地域福祉計画と綿密な連携を図った第5次地域福祉活動計画を策定し、「つながり 支えあい 安心するまちづくり」を基本理念とした計画に基づく取り組みを令和5年度から開始しております。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、コロナ禍では自粛していた活動も今年度からコロナ禍以前と同様に再開しております。コロナ禍で顕在化した課題をはじめ、地域課題を解決していくための取り組みを、地域の皆様と一緒に、今後より一層力を入れて取り組んでまいります。

また、地域を支える活動者の発掘・育成を目指して、ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成にも、力を注いでまいります。

多摩市社会福祉協議会は、これからも行政はもとより市内の関係諸機関、地域の皆様や団体、ボランティアの皆様などと力を合わせ、職員が一丸となって市民の皆様が安心して暮らせる「健幸まちづくり」を推し進めてまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 多摩市社会福祉協議会法人化50周年に寄せて

多摩市長 阿部 裕行



多摩市社会福祉協議会が法人化50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、この度の記念誌のご発刊、誠におめでとうございます。

貴協議会におかれましては、地域共生社会の実現に向け、市民一人ひとりと向き合い、地域との絆を深めながら地域福祉の充実・発展に大きく寄与されています。長きにわたりご尽力いただきました紀会長をはじめとした歴代の会長、理事評議員、関係者の皆様に対し、敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

2020年に国内で初めて確認された「新型コロナウイルス感染症」は、人の流れが媒介役となって瞬く間に全世界に拡大し、日本国内でも大規模な感染を繰り返しました。また、長期化するウクライナとロシアの戦争、悪化の一途を辿るパレスチナ問題、地球沸騰化など、世界は様々な困難に直面しています。

地域福祉を取り巻く課題もヤングケアラー、8050問題、貧困など複雑化、多様化し、家庭・家族だけでケアの責任や負担を負うことはとてもできません。地域や社会で支え合うしくみが必要です。

多摩市社会福祉協議会は、独自の事業や市からの委託事業、市内10のコミュニティエリアに配置されている地域福祉（生活支援）コーディネーターを通し、地域に根差した心の通う活動を続けてこられました。あらためて厚く御礼申し上げます。

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々、そのご家族、関係者の皆様に心からお見舞い申し上げます。貴協議会と市では、1月6日より街頭募金活動を実施しました。被災地域の一日も早い復旧・復興を願っております。

本年は、第六次多摩市総合計画の本格的スタートの年になります。

「つながり 支え 認め合い いきいきとかがやけるまち多摩」を目指し貴協議会と多摩市が今後もしっかりと連携していきたいと考えています。

結びに、多摩市社会福祉協議会のますますのご発展と会員の皆様及び関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

# 多摩市社協 50th History

## 法人化以前

- 任意団体としての社会福祉協議会設置 (S30.4月)
- 会員募集開始
- 「TAMA 社協ニュース」第1号発行 (S46.2月)  
※現在の「ふくしだより」
- 中卒就職者の激励会開催 (S46.3月～S55.3月)
- 心配ごと相談所開設 (S46.4月)
- 福祉事務所設置、社会系の事務所管となる (S46.11月)
- 金婚夫婦へ記念写真プレゼント (S47.4月～S55.9月)

## 昭和 48 年度 (1973 年度)

- 社会福祉法人として設立 (7月23日認可・9月1日発足)
- 「老人芸能大会」第1回開催 (7月～H17)
- ボランティアグループ育成事業開始

## 昭和 49 年度 (1974 年度)

- 法人化1周年記念式典開催 (9月)
- 声の社協ニュース「やまびこ」発行 (10月)  
※現在の「声のふくしだより」
- 「心身障害者バザー」(第1回福祉バザー)開催 (11月)

## 昭和 51 年度 (1976 年度)

- 「福祉大会」第1回開催 (S52.2月)
- 「ボランティアスクール」第1回開講 (S52.3月)

## 昭和 54 年度 (1979 年度)

- ひとり暮らし高齢者に対する行事開催 (～H12.3月)
- はり・灸・マッサージの補助事業開始 (～H15.3月)

## 昭和 55 年度 (1980 年度)

- 「つくし作業所」仮開設 (12月～S56.3月)

## 昭和 56 年度 (1981 年度)

- 「つくし作業所」開設 (4月～H21.3月)
- ひとり暮らし高齢者の誕生日訪問事業開始 (4月～H12.3月)



## 昭和 59 年度 (1984 年度)

- 在宅重度心身障がい者ガイドヘルパー派遣事業受託開始 (4月)
- 「障がい者クリスマス・もちつき大会」開催 (12月)  
※「もちつきクリスマスの集い」、「福祉まつり」、「総合福祉センターまつり」、現在の「福祉フェスタ」

## 昭和 60 年度 (1985 年度)

- ボランティア基金設置 (5月)
- 多摩ボランティアセンター開設 (6月)



## 昭和 61 年度 (1986 年度)

- 多摩市社協諏訪支部発足 (10月)
- 「ボランティア講座」開始 (10月)



## 昭和 63 年度 (1988 年度)

- 多摩市社協事務局・多摩ボランティアセンター移転 (旧健康センターへ) (12月)
- 法人化15周年記念事業 (「福祉大会」、「記念誌発行」) (H元.3月)

## 平成元年度 (1989 年度)

- 福祉基金設置 (10月)

## 平成 2 年度 (1990 年度)

- 多摩ボランティア団体等連絡運営委員会設置 (～H13.3月)

## 平成 3 年度 (1991 年度)

- 地域福祉活動計画策定調査会設置 (～H4.3月)
- 多摩ボランティア活動推進協議会設置 (～H17.3月)

## 平成 4 年度 (1992 年度)

- 第1回チャリティゴルフ大会開催 (東京国際CC)
- ボランティア活動推進計画策定

## 平成 5 年度 (1993 年度)

- つくし作業所増改築
- 法人化20周年記念事業 (「福祉大会」、「記念誌発行」) (H5.3月)

## 平成 6 年度 (1994 年度)

- 「地域福祉活動計画」策定 (H7.3月)
- 夏休みボランティア体験学習事業開始 (6月)
- サポート阪神多摩ネットワークに対し支援 (H7.1月～12月)

## 平成 7 年度 (1995 年度)

- つくし作業所分室開所 (多摩中学校空き教室) (4月)
- ボランティア実践講座開始

## 平成 9 年度 (1997 年度)

- 多摩市社協事務局・多摩ボランティアセンター移転(総合福祉センターへ)(4月)
- 多摩市社協組織の再編(2課7係)
- 第2つくし作業所開設(4月～H20.3月)
- 老人福祉センター・障害者福祉センター事業受託開始(4月)
- 多摩ボランティアセンター関戸分室開設(多摩市役所)(5月)
- デイサービス事業受託開始(10月)
- 「福祉まつり」開催(第1回)(12月)



## 平成 10 年度 (1998 年度)

- 知的障害者生活寮「たま豊ヶ丘寮」開設(H11.3月～H21.1月)

## 平成 11 年度 (1999 年度)

- 地域福祉権利擁護事業開始(10月)
- 多摩ボランティアセンター分室移転(東永山複合施設へ)(関戸分室閉鎖、永山分室開設)(H12.1月)
- 多摩市社協諏訪支部移転(東永山複合施設へ)(H12.2月)

## 平成 12 年度 (2000 年度)

- 通所介護事業受託開始(4月～H25.8月)
- 三宅島からの避難民の調査及び激励する交流会開催(11月)



## 平成 13 年度 (2001 年度)

- すぎなの友生活訓練所受託開始(4月)
- 通所入浴サービス事業受託開始(4月)
- 任意団体として「多摩ボランティアセンター登録団体連絡会」発足(4月)
- 「福祉なんでも相談」開始(6月)
- 「子育てサロン(スペースたまま)」開始(H14.2月～H23.9月)
- 「第2次地域福祉活動計画」策定(H14.3月)

## 平成 14 年度 (2002 年度)

- 多摩市社協組織の再編(2課10係)
- 「多摩ゆうゆうサービス」事業開始(旧福祉サービス公社の事業引継ぎ)(4月)
- 通所入浴サービス事業受託開始(4月)
- 多摩市社協ホームページ開設(H15.1月)

## 平成 15 年度 (2003 年度)

- 支援費制度による事業者指定(4月)  
※指定事業(視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業、たま豊ヶ丘寮)
- 福祉サービス利用支援事業開始(4月)
- 第12回チャリティゴルフ大会開催(桜ヶ丘CCに変更)
- 福祉情報コーナー開設(7月)
- 地域福祉権利擁護事業法律相談開始(7月)
- 「ふれあい・いきいきサロン」事業開始(9月)
- 法人化30周年記念事業「多摩市社協イメージキャラクター」決定(11月)
- 法人化30周年記念事業  
(「福祉大会」、「記念誌発行」)  
(H16.2月)



## 平成 16 年度 (2004 年度)

- 「ボランティア交流会」開催(8月)

## 平成 17 年度 (2005 年度)

- 「多摩ゆうゆうサービス」事業を見直し、「たすけあい有償活動」事業として開始(4月)
- 福祉協力員モデル事業(4月～H19.3月)
- 多摩ボランティアセンター運営委員会設立準備会開催(5～7月)

## 平成 18 年度 (2006 年度)

- 障害者自立支援法に基づくグループホーム事業として「たま豊ヶ丘寮」事業開始(4月)
- 「福祉協力員による見守り活動」諏訪地域で開始(6月)
- 「多摩ボランティアセンター運営委員会」設置(6月)
- 「福祉ショップきずな」事業開始(10月～H26.3月)
- 「今後のボランティアセンター事業展開(再編)に関する専門委員会」開催(11月～H19.3月)



## 平成 19 年度 (2007 年度)

- 「総合福祉センターまつり」開催(「春の発表会」「福祉大会」「福祉まつり」を一体開催)(H20.2月～3月)
- 第2つくし作業所を社会福祉法人「龍鳳」に移譲(H20.3月)

## 平成 20 年度 (2008 年度)

- 多摩市社協組織の再編(2課7係)
- 「連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会」発足(7月)
- グループホーム「たま豊ヶ丘生活寮」事業廃止(H21.1月)
- 「福祉のネットワーク永山」発足(H21.2月)
- つくし作業所を社会福祉法人「正夢の会」に移譲(H21.3月)



## 平成 21 年度 (2009 年度)

- 指定相談支援事業開始 (4 月)
- 「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」発足 (6 月)
- 権利擁護センター設立 (10 月)
- 「権利擁護センター運営委員会」設置 (10 月)
- 「福祉フェスタ 2010 (第 1 回)」開催 (総合福祉センターまつりを名称変更し「春の発表会」「福祉大会」「ボランティアまつり (第 1 回)」開催) (H22.2 月)

## 平成 22 年度 (2010 年度)

- 「馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会」発足 (4 月)
- 「多摩市第 3 次地域福祉活動計画」策定 (H23.3 月)
- 「災害救援物資の受付、仕分け、梱包等ボランティア活動」(H23.3 月～4 月)

## 平成 23 年度 (2011 年度)

- 多摩市南部地域包括支援センター事業受託開始 (4 月～H28.3 月)
- 災害ボランティアの養成「炊き出し訓練」(5 月～6 月)
- 「石巻復興支援ボランティア活動」(6 月～7 月)



- 「ふれあいトムとも (鶴牧・落合・南野地区地域福祉推進委員会)」発足 (7 月)
- 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」開始 (8 月)
- 「まち育てネットワーク・関戸」発足 (8 月)
- 「桜ヶ丘まちネット」発足 (9 月)
- 障害者自立支援法の一部改正に基づく、同行援護サービス事業所の開設 (10 月)
- 被災地支援活動「チャリティ映画会」開催 (H24.3 月)
- 地域福祉特定基金設置 (H24.3 月)
- すぎなの友生活訓練所を社会福祉法人「啓光福祉会」へ移譲 (H24.3 月)

## 平成 24 年度 (2012 年度)

- 地域活動支援センター I 型 (通称: あんど) (障がい者福祉センター) 事業受託開始 (4 月)
- 「多摩ボランティアセンター」がヴィータ・コミュニネ 7 階に移転し、「多摩ボランティア・市民活動支援センター」として運営開始 (11 月)
- 東日本大震災復興支援「チャリティコンサート」開催 (H25.3 月～H29.3 月)
- 「多摩市社協災害時職員行動マニュアル」策定 (H25.3 月)
- 「多摩市災害ボランティアセンター運営マニュアル」策定 (H25.3 月)

## 平成 25 年度 (2013 年度)

- 障害者自立支援法に基づく「指定特定相談支援事業所」を開設 (4 月)
- 「ヘルプカード」等作成事業受託開始 (4 月～H27.3 月)
- まちづくり推進係がヴィータ・コミュニネ 7 階に事務所移転 (6 月)
- 「ほほえみネットワーク愛宕」発足 (H26.2 月)
- 法人化 40 周年記念事業 (「福祉大会」、「記念誌発行」) (H26.2 月)



## 平成 26 年度 (2014 年度)

- 「多摩市介護予防ボランティアポイント」事業受託開始 (7 月)
- 多摩市版フードバンク事業試行開始 (10 月)
- 「第 6 回ボランティアまつり」開催 (H27.1 月)
- 「福祉バザー」開催 (H27.1 月ボランティアまつり、2 月春の発表会・福祉大会に合わせて開催)

## 平成 27 年度 (2015 年度)

- 多摩ボランティアセンター 30 周年記念マスコットキャラクター「タマボラ君」決定 (6 月)
- 「三方の森ふれんど (和田・東寺方・百草地区)」発足 (7 月)
- 「唐木田・中沢・山王下等地区地域福祉推進委員会」発足 (7 月)  
※多摩市内全コミュニティエリア (10 エリア) に「地域福祉推進委員会」が発足
- 人材育成方針策定 (H28.3 月)



## 平成 28 年度 (2016 年度)

- 多摩市介護予防・日常生活総合支援事業 (訪問型サービス B) 事業開始 (5 月)
- 「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」発足 (多摩市内の社会福祉法人全 21 法人が参加し、事務局を多摩市社協が担う) (7 月)
- 「高次脳機能障害支援促進事業」受託開始 (9 月)
- 「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事務事業」受託開始 (12 月)
- 「多摩市第 4 次地域福祉活動計画」策定 (H29.3 月)

## 平成 29 年度 (2017 年度)

- 多摩社協組織の再編成 (2 課 4 係) (4 月)
- まちづくり推進担当に「地域福祉コーディネーター」を配置 (4 月)
- 多摩市健康福祉部高齢支援課内に設置された「多摩市基幹型地域包括支援センター」に職員 2 名を研修派遣 (4 月)



- 「多摩市第2層生活支援体制整備事業」受託開始（4月）
- 多摩市第2層日常生活圏域に合わせ、まちづくり推進担当職員2名を生活支援コーディネーターとして配置（地域福祉コーディネーター兼務）（4月）
- 多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会としての地域公益活動の一環として「多摩市内社会福祉法人利用・活用サポートガイド」を発行（9月）
- 「地域活動・支えあいリスト」（10エリア）を作成・発行（生活支援体制整備事業）（H30.1月）
- 「和田・東寺方コミュニティセンター（大栗川・かろがも館）」にて「福祉なんでも相談」開始（H30.2月）
- 「復興支援・災害啓発講演会」開催（H30.3月）
- 学生向けに「ボランティア・ハンドブック」を発行（H30.3月）

### 平成30年度（2018年度）

- 多摩市第2層日常生活圏域の細分化に合わせ、まちづくり推進担当正規職員を生活支援コーディネーターとして配置（地域福祉コーディネーター兼務）（4月）
- 「近所de元気アップトレーニング」開始（4月）



- 岡山県倉敷市の災害ボランティアセンターへ、被災地支援として職員と市民ボランティアを派遣（9月）
- 「タマボラ君」LINEスタンプ作成（10月）
- 権利擁護センターにて八王子市社協と共催で「社会貢献型後見人（市民後見人）」の養成を実施（11月）
- 子ども食堂等への助成金制度開始（11月）
- 「自治会・住宅管理組合車椅子提供事業」実施（11月）（30・31年度の2か年事業）
- 「第1回地域ささえあい歳末チャリティゴルフ大会」開催（府中CC）（12月）
- 「ボランティア・地域活動見本市（第10回ボランティアまつり）」開催（H31.1月）
- 「災害時における多摩市社会福祉協議会と多摩青年会議所との協力に関する協定書」を締結（H31.1月）
- 「ひきこもり家族会」の立ち上げにむけた講演会の開催（H31.2月）
- 法人化45周年記念「福祉大会」を開催（H31.2月）
- 「地域福祉コーディネーター報告書」初刊発行（平成29年度版）（H31.3月）

### 平成31年・令和元年度（2018年度）

- 「自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金」制度の開始（4月）
- 東寺方地区で住民懇談会（ざっくばらんな座談会）を開催（4月・7月）

- 関戸・一ノ宮地区の地域福祉推進委員会の名称を「まち育てネットワーク関・一」に変更（2月）
- 「平成30年度 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター活動報告書」発行（9月）
- 「災害時要配慮者わたしたちからのメッセージ」の改訂（9月）
- 「NPO・ボランティア・市民活動個別相談会」の開始（9月）
- 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」実施（9月）※東京都と多摩市合同の総合防災訓練と同時開催



- 台風19号災害義援金活動実施（9月）
- 八王子市の災害ボランティアセンターへ台風19号による被災地支援として職員及び登録ボランティアを派遣（10月）



- 「（仮称）多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会発足準備会」を開催（R2.2月）
- 「シニアのためのボランティア・地域活動ハンドブック」を発行（R2.3月）
- 第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画（エリア別活動計画含む）の策定（R2.3月）
- 多摩市通いの場MAPを発行（R2.3月）
- 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の申請受付開始（R2.3月）
- ひきこもり家族会「ぼんぼこの会」として家族による自主運営に移行（R2.3月）
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業
  - ・福祉バザー（2月）、福祉大会（2月）

### 令和2年度（2020年度）

- 「ボランティア通信」をカラー8ページに紙面拡大（4月）
- 自治会・管理組合向けに「ご近所支えあいハンドブック」を発行（4月）
- 「通いの場づくりハンドブック」を発行（4月）
- 成年後見制度利用者支援事業（中核機関）の受託（4月）
- 成年後見制度後見監督人業務開始（7月）
- 生活福祉資金特例貸付「総合支援資金延長」申請開始（7月）

- 豊ヶ丘健幸つながるひろば「とよよん」の運営支援開始(9月)



- 南多摩ブロック5市社協による災害時支援協定締結(10月)
- 感染症下に対応したICTの環境整備としてZoomを導入(11月)
- 「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」の発足(11月)
- 福祉大会中止に伴い、地域福祉功労者の表彰についての動画を作成・公開(R3.2月)
- 生活福祉資金特例貸付「総合支援資金再貸付」申請開始(R3.2月)
- 感染症に対応した災害時事業継続計画(BCP)を策定(R3.3月)
- 老人福祉センター事業受託終了(R3.3月)
  - ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業
    - ・「第29回チャリティゴルフ大会」(桜ヶ丘cc)(6月)
    - ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練(7月)
    - ・夏のボランティア体験(7~8月)
    - ・福祉フェスタ、ボランティア・地域活動見本市(10月)
    - ・福祉バザー(10月、R3.2月)
    - ・障がい者と共にひとときの和(10月)

### 令和3年度(2021年度)

- 諏訪支部社協解散(5月)
- コロナ禍に対応し、在宅やリモートでもできる「夏のボランティア体験」開催(7~8月)(R3,4年度)
- 多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)による食料等無料配布事業の実施(6・12月)



- ボランティアセンター永山分室(東永山複合施設内)閉鎖(R4.1月)
- 「子ども・若者応援基金」創設(2月)
  - ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業
    - ・福祉フェスタ、ボランティア・地域活動見本市(10月)
    - ・障がい者と共にひとときの和(10月)(中止に伴い障がい者理解のためのDVD・パンフレットを作成)
    - ・福祉バザー(10月、R4.3月)
    - ・福祉大会(R4.2月)

### 令和4年度(2022年度)

- 多摩ボランティア・市民活動支援センターをリニューアルし、団体の活動拠点の整備(4月)
- 会員賛助金・寄付金におけるキャッシュレス決済システム(Syncable)の導入(4月)
- 「子ども・若者応援助成金」の開始(7月)
- 「フードパントリー事業」の開始(9月)
- 「ボランティアパーク(秋のボランティア体験)」の開催(10月福祉フェスタ)



- 生活福祉資金特例貸付申請受付終了(9月)
- 多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)による食料等無料配布事業の実施(12月)(R4,5年度)
- 「第5次多摩市地域福祉活動計画」策定(R5.3月)

### 令和5年度(2023年度)

- 「高齢者あんしんサポート事業」開始(4月)
- 多摩市社協ホームページのリニューアル、スマートフォン版ホームページの運用開始(4月)
- 多摩市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル(2類感染症・水害対策版)の作成(4月)
- 「学習支援事業」の開始(7月)
- 「令和5年6・7月大雨災害」義援金活動(7月)
- 「令和6年能登半島地震」義援金活動(R6.1月)



- 法人化50周年記念「福祉大会」開催(R6.2月)
- 法人化50周年記念誌発行(R6.2月)
- 法人化50周年記念マスコットキャラクター「たまふくちゃん」決定(R6.2月)



# 10年間における多摩市社協の新たな取組み

## 平成26(2014)年～令和5(2023)年

### 生活困窮者への支援 ～フードドライブ事業～

生活困窮者支援として、平成29(2017)年からフードドライブ事業を開始。家庭での未使用食品の寄付を市民や団体に呼びかけ、生活福祉資金や応急小口資金の貸付相談の利用者を中心に食料の無料提供を行い、生活上に課題を抱えている方に寄り添いながら支援しています。



### 新たなネットワークの構築

- 平成28(2016)年に「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」を構築。多摩市社協が事務局となり、市内21の社会福祉法人で連携しながら、車いす体験などの地域活動への協力、フードドライブの実施や車いすの貸出など、社会貢献活動を積極的に実施しています。
- 令和2(2020)年に「多摩地域企業・大学等連絡会」を構築。(R6.1月現在 参加団体40) 多摩市社協がその事務局を担いながら、コロナ禍で深刻化する生活困窮に対する取り組みとして、令和2年から子どものいる家庭への食料無料提供事業を実施しています。



### 地域福祉の推進

- 多摩市のコミュニティエリア全10エリアに「地域福祉推進委員会」が発足。〔平成20(2008)年～27(2015)年〕多摩市社協が事務局となり、地域の皆さまと一緒に地域の横のつながりづくりや課題解決のための様々な取り組みを行っています。
- 地域福祉推進課まちづくり推進担当に平成29(2017)年から「地域福祉コーディネーター」を配置。地域の主体的な活動の伴走支援を行っています。



### 子ども・若者支援の取り組み

- コロナ禍で顕在化した生活に困難を抱える子ども・若者とその家族を支援するために下記の事業を開始しました。
- フードパントリー(食料配布)事業〔令和4(2022)年～〕
  - 子ども・若者支援基金の設置〔令和4(2022)年～〕
  - 子ども・若者応援助成金〔令和4(2022)年～〕
  - 学習支援事業〔令和5(2023)年～〕

## 災害時に備えた取り組み

- 被災地支援として職員や市民ボランティアを被災地に派遣〔平成 30(2018)年岡山県倉敷市、令和元(2019)年東京都八王子市〕
- 義援金活動の実施
- 関係団体との災害時における協定書の締結〔平成 30(2018)年多摩青年会議所、南多摩ブロック 5 市社会福祉協議会〕



## ひきこもり家族会の立ち上げ、活動支援

ひきこもりの方とその家族を支援するため、令和元(2019)年にひきこもり家族会「ぼんぼこの会」の立ち上げを支援しました。情報交換や憩いの場としての活動や勉強会等の活動のお手伝いも行っています。

## 権利擁護事業の推進

判断能力に不安のある高齢者・障がい者の方を支援するための下記の事業を開始しました。

- 社会貢献型後見人(市民後見人)の養成〔平成 30(2018)年〕
- 成年後見制度利用者支援事業(中核機関)の受託〔令和 2(2020)年～〕
- 成年後見制度後見監督人業務〔令和 2(2020)年～〕
- 高齢者あんしんサポート事業〔令和 5(2023)年～〕



## 新型コロナウイルス感染症下における対応

新型コロナウイルス感染症は市民生活に大きな影響を与え、また様々な活動にも制約が生じました。急増する生活困窮等の相談に対応するとともに、各事業の継続に力を注ぎました。

- 生活福祉資金特例貸付の実施〔令和 2(2020)年 3 月～4(2022)年 9 月〕
- ICTの環境整備として Zoom を導入、オンラインを活用しての各種事業の実施〔令和 2(2020)年～〕



第4回 馬引沢通り・諏訪名店街  
オンラインウォークラリー

## 第5次多摩市地域福祉活動計画の策定

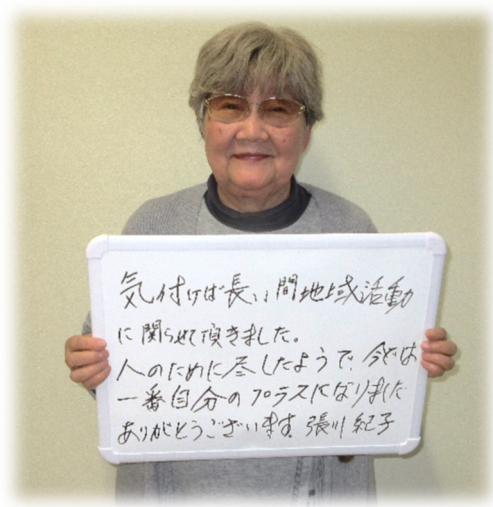
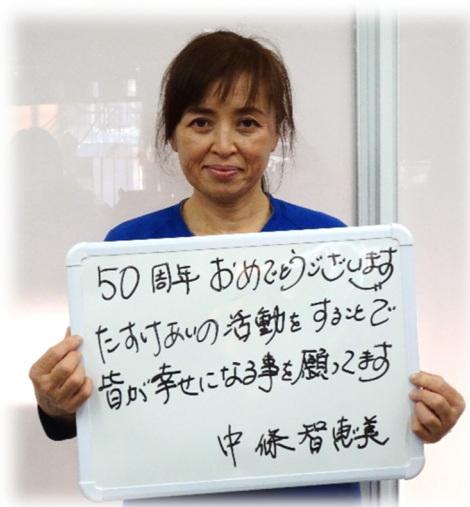
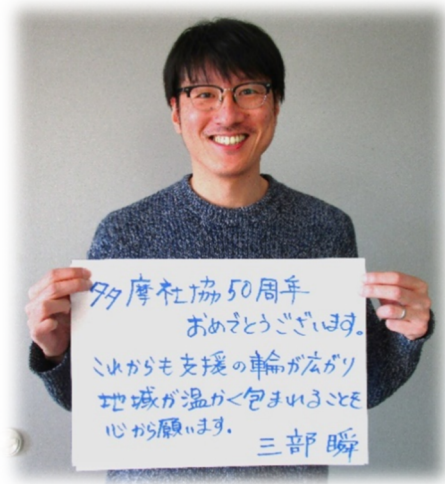
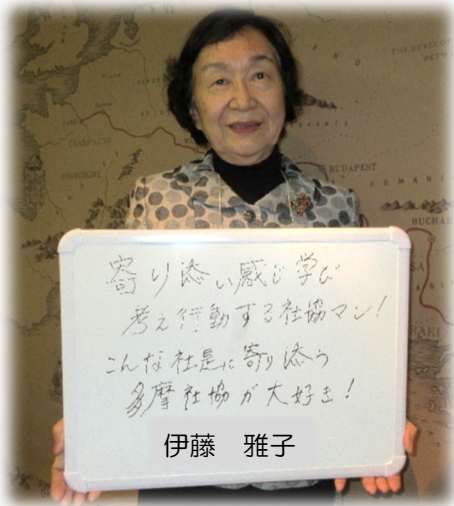
様々な社会状況の変化を背景に、福祉ニーズを多様化や、人と人とのつながりの希薄化により地域のささえあいの機能が低下してきているといわれています。第5次活動計画〔令和 5(2023)年度～10(2028)年度〕では、これらの課題に取り組むため、これまでの構成を大きく組み換え、基本理念「つながり 支えあい 安心するまちづくり」の実現に向けた住民活動計画を策定しました。



# ♡♡♡ ありがとうメッセージ ♡♡♡

多摩市社協法人化 50 周年にあたり、多摩市社協と関わりの深い個人・団体の皆さまから「ありがとうメッセージ」をいただきました。皆さまに支えていただき、多摩市社協は法人化 50 周年を迎えることができました。あたたかいメッセージをありがとうございました！これからも多摩市社協をよろしく願いいたします。

(敬称略)

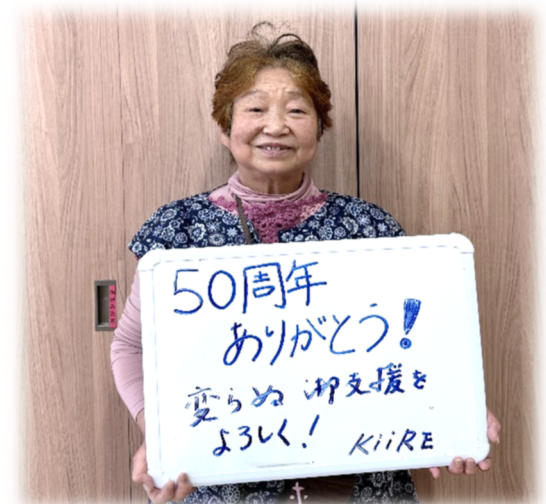
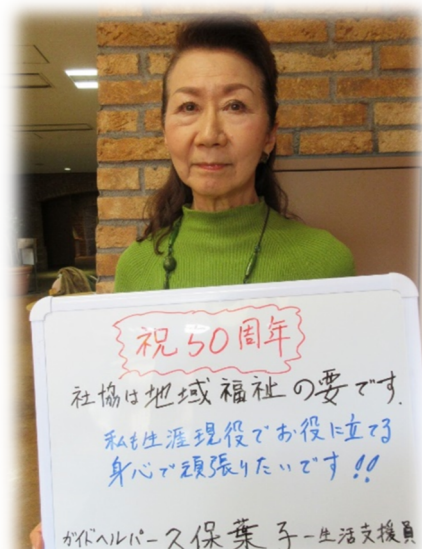
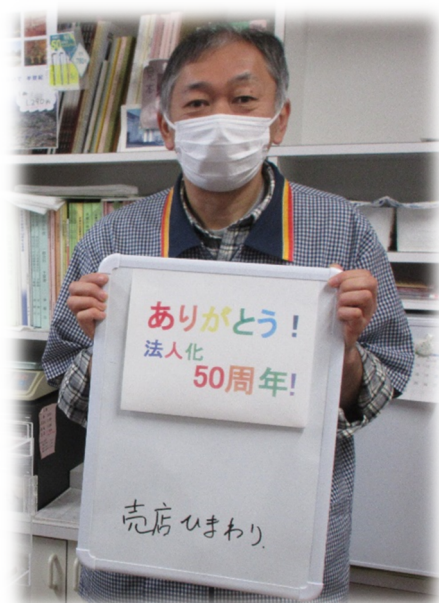




地域交流スペースやどり木 中村 奈美



木多 浩子



喜入 トシ子



多摩市社協理事・監事



多摩市社協評議員



東京多摩ロータリークラブ



多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会



ソスペーゾ多摩



多摩ボラセン登録団体連絡会



たま食ねっと。



大妻多摩中学高等学校生徒会

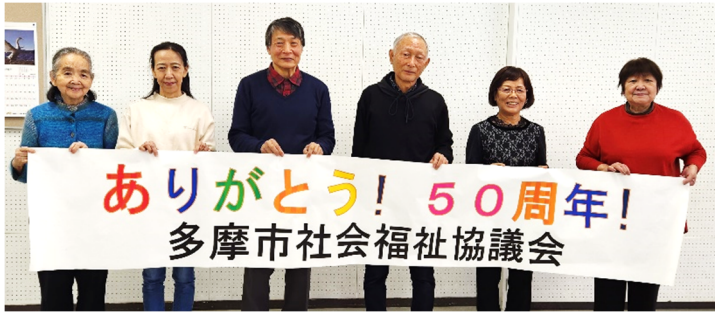


視覚障がい者 マッサージ友の会



NPO 法人 BODER FREE





まち育てネットワーク・関一



連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会



桜ヶ丘まちネット



三方の森ふれんど



ほほえみネットワーク・愛宕



馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会



福祉のネットワーク永山



ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな



ふれあイトムとも



ほっとネットしょうぶ



多摩地域企業・大学等連絡会  
ゆるたまネット

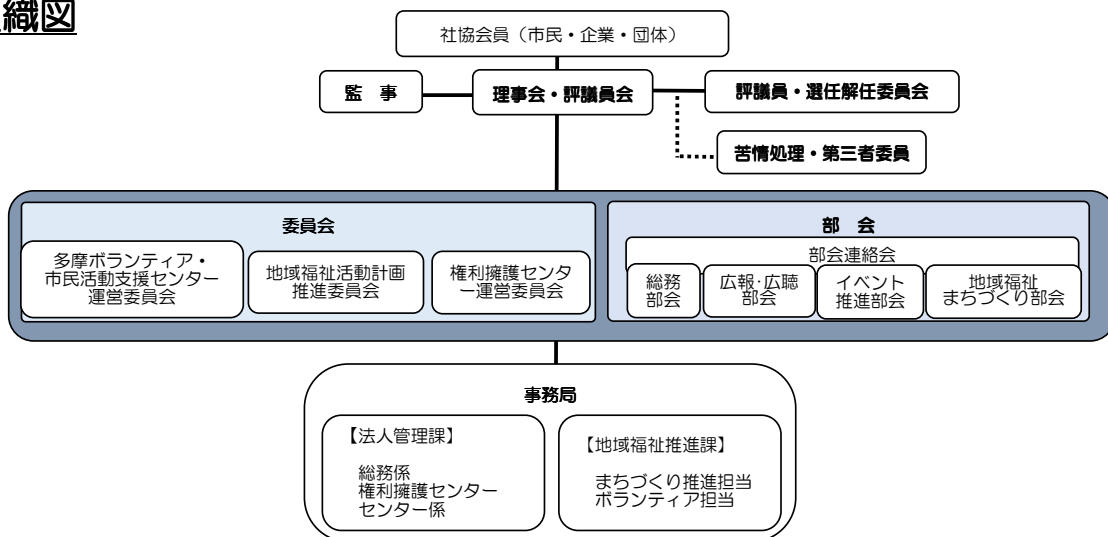


## 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会

多摩市社協は、昭和30(1955)年4月に任意団体として設立されました。昭和48(1973)年に社会福祉法人としての認可を受け、社会福祉法に基づき設置された民間団体です。地域住民の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指します。

誰もが住み慣れた地域の中で、年齢・性別・障がいのあるなしに関係なく、安全に心豊かな生活を送りたいと願っています。多摩市社協は、そうした思いの中から生まれてくるニーズに応えるべく、広く地域の方からの相談に応じ、行政や福祉・医療・保健関係者、地域やボランティアの皆さまと連携・協力しながら、安心して生活できる福祉コミュニティの実現を目指します。

### ■組織図



### ■事務局

#### 【法人管理課】

《総務係》 調査・研究・広報活動、事業・イベント等の企画実施、各種貸付事業（生活福祉資金貸付、小口資金貸付等）、共同募金活動

《権利擁護センター》 成年後見制度の相談や利用支援、福祉サービス利用支援事業（あんしんサポート・たま）、高齢者あんしんサポート事業

《センター係》 地域活動支援センター事業（在宅障がい者デイサービス、相談支援、水中機能訓練、通所・訪問入浴サービス、障害理解促進、高次脳機能障害者支援）、同行援護事業、意思疎通支援事業、計画相談支援

#### 【地域福祉推進課】

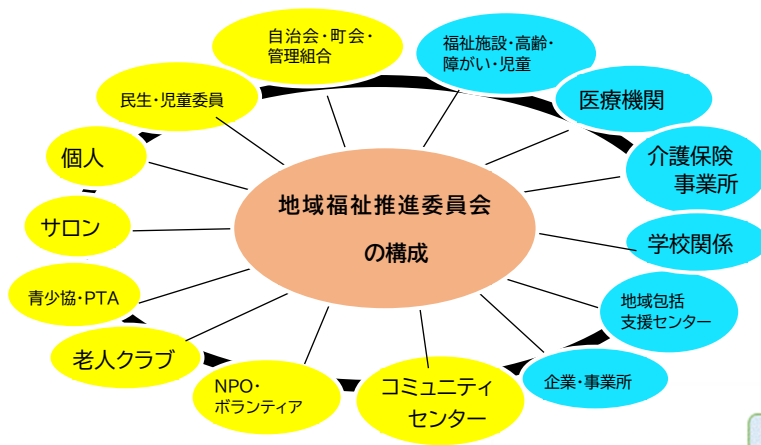
《まちづくり推進担当》 地域福祉推進委員会の運営、ふれあい・いきいきサロン、福祉なんでも相談の実施、たすけあい有償活動

《ボランティア担当(多摩ボランティア・市民活動支援センター)》 ボランティア・市民活動のコーディネート・支援、各種講座や研修会の企画・開催、フードドライブ・フードパントリー事業、子ども・若者支援

### 地域福祉推進委員会

地域福祉推進委員会は、市内10のコミュニティエリアを基準とし、急速に進む高齢化、孤立、見守り、災害時の助けあいなど制度だけでは解決できない課題に対し、地域住民が主体となり、専門機関や団体など多機関が協働して、課題の解決に向けた検討や活動に取り組んでいます。

多様な主体が参加する、地域活動のプラットフォームとして、地域に横のつながりをつくっています。



縦割りの地域を横につなぐ！  
地縁団体（住民）を中心に専門機関や、企業、大学などが連携・協力することにより、地域内の情報共有や、課題の解決に向けた活動をしています。  
誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティを目指しています。



地域福祉推進委員会は、コミュニティセンター等を拠点に、2カ月に1回のペースで開催しています。  
オンラインを併用しているので、多世代・多職種が参加しています。



10のコミュニティエリアに1ヶ所ずつ設置しています。

地域福祉コーディネーター（エリア担当職員）が、事務局兼コーディネーターとして、地域内の様々な団体や個人、企業や専門機関が連携・協力しあい、地域の福祉問題や課題解決に取り組んでいけるよう、様々な社会資源と地域福祉推進委員会をつなぎ、運営を支援しています。

問い合わせ 電話 042-373-5616 FAX 042-373-6629

## ふれあい・いきいきサロン

地域の集会所等を活用した、誰もが気軽に立ち寄れる仲間づくりと出会いの居場所です。顔見知りになることで、ゆるやかな見守りにもつながります。多摩市内には、110団体のサロンが活動しています。(令和6年1月現在)



サロンの活動内容は自由！  
お茶を飲んだり、体操をしたり、  
皆さんが主体的に運営をします。



■ 広報紙：サロン通信

問い合わせ 電話 042-373-5616 FAX 042-373-6629

## たすけあい有償活動

高齢や病気などにより日常生活でお困りの方を、地域の皆さんが協力員となって支える、有償の家事支援の活動です。

■ 主な活動内容

- ・ 日常の家事援助（掃除・洗濯・買い物など）
- ・ 普段できない箇所の掃除（換気扇・窓ふき・レンジ掃除）
- ・ 草むしり（剪定・伐採・ごみの引き取りは行えません）
- ・ 衣替え・押し入れの整理など



■ 広報紙：たすけあいめーる

問い合わせ 電話 042-389-3344 FAX 042-373-6629

## 多摩ボランティア・市民活動支援センター事業

多摩ボランティア・市民活動支援センター(以下、多摩ボラセン)では、ボランティア活動の振興を図るために、様々なサポートを行っています。

### 多摩ボラセンが行うサポート

#### ▶ ボランティア活動のコーディネート

「活動を始めてみたい」「ボランティアをお願いしたい」「情報を知りたい」など、皆さまの相談に応じ、それぞれにあった活動をコーディネートします。

#### ▶ ボランティア入門・実践講座や研修会の企画・開催

これから活動を始めたい方、スキルアップしたい方などへ、活動に役立つ講座や研修会などを企画・開催します。

#### ▶ ボランティア活動の支援

活動場所の提供、福祉教材の貸出、活動に関する情報提供(ボランティア通信の発行)、助成金の交付、ネットワークづくり(多摩ボラセン登録団体連絡会の開催)、団体立ち上げ支援、ボランティア保険や行事保険の加入受付など、各活動をサポートします。



タマボラ君

災害時に多摩市災害ボランティアセンターを設置・運営するため、平時から訓練等を実施し、災害ボランティアの育成も行っています。

### 災害時に備えた取り組み

#### ▶ 災害ボランティアの育成

「災害ボランティア入門講座」「災害ボランティアフォローアップ講座」などを開催し、災害ボランティアの登録をお願いしています。

登録者と災害時を想定した訓練等を実施し、登録者同士のつながりの強化とスキルアップを行っています。



## ▶災害時要配慮者の啓発

高齢者・障がい者や、普段の生活では支障がなくても状況によっては手助けが必要となる妊産婦、乳幼児、外国人など、災害時に配慮が必要な方々が困ることや知ってもらいたいことなど当事者の皆さんからのメッセージをまとめた冊子を発行しています。



←詳細はこちらから

日頃から私たちにできることは何かを一緒に考えていただけたらと思います。

▶災害ボランティアセンターや災害ボランティア活動について  
分かり易く解説している動画を作成し周知を行っています。

動画はこちら→



令和4年度より「子ども・若者応援事業」として、子ども・若者が地域で安心して過ごすことのできる居場所づくりや学習支援などの実施、こうした取り組みを行う団体の活動支援(助成金の交付等)をしています。

## 子ども・若者支援の取り組み

## ▶フードパントリー（食料配布）事業

継続して支援が必要な世帯を対象に、月1回、フードバンク団体と共催で実施しています。



**▶フードドライブ事業**

ご家庭からご提供いただいた食品を、フードバンク団体や子ども・誰でも食堂、生活の支援が必要とする方などへお渡しする活動を行っています。

ご家庭で提供できる食品を1つでもお持ちいただくことで、生活困窮世帯や子ども・誰でも食堂などの支援ができます。



各店舗のフードドライブ窓口で市民の方々からご寄付いただくほか、企業や学校、福祉施設等で社員、学生、職員に呼びかけ食品を集めていただきました。ご寄付いただいた食品は、フードバンク団体と連携して子ども・誰でも食堂や困窮世帯に提供しています。

**▶子ども・若者応援助成事業**

子ども及び若者が、その置かれた状況により、経験・体験等に格差が生じている現状に対し、それらの格差を埋める一助となるような取り組み（場づくり）を行う団体に対して、事業助成金を交付しています。

**▶学習支援事業**

生活にお困りの世帯の子どもや学習面で困難を抱えている子どもたちに対して、学習を支援する場（居場所）を提供しています。大学生が中心となって活動している学習支援団体と協働で、学習支援教室を開催しています。





多摩地域における企業や大学等と連携し地域・社会貢献活動の取り組みを行っています。



多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）の取り組み

▶ゆるたまネットとは

ゆるたまネットは、多摩市内を中心にボランティア活動や地域・社会貢献活動に取り組んでいる、あるいは取り組もうとしている企業や大学、団体等で構成されたネットワークで、現在は 40 団体が所属しています（事務局：多摩ボラセン）。



▶フードパントリー（食料配布）事業

令和3年度より、大学生以下の子どもがいる世帯と大学生や留学生等を対象にした食料等無料配布事業を実施しています。



▶学習会

今後地域で必要と思われる活動について、学習会を開催し新たな取り組みにつなげています。



食料支援の学習会



災害時連携の勉強会

令和5年度は、就労に向けて段階的なサポートを必要とする方の支援（就労体験やボランティア活動）をテーマにした学習会を開催。

問い合わせ 電話 042-373-6611 FAX 042-373-6629

## 権利擁護事業

権利擁護とは、認知症や障がいによって判断が十分にできない方が不利益を被らないように、援助者がその意思をくみ取り、安心して生活できるようにサポートすることです。成年後見制度や福祉サービスに関する相談、専門家による福祉法律相談などを行っています。



### 福祉サービス利用支援事業（あんしんサポート・たま）

高齢者や障がい者の方を対象に、福祉サービスの利用支援や金銭管理のお手伝い、大切な書類等を預かるサービスです。

※契約後のサービス（支援）は原則として利用料がかかります

### 成年後見制度の利用に関すること

弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門家と連携して、成年後見制度についての相談や申立手続きのアドバイス、後見人候補者の紹介等を行います。

### 後見人等の支援

後見活動等についての相談や各種書類の作成の支援を行います。また、後見人等の交流と情報交換の場を提供し、後見人等が孤立せず活動するための支援を行います。



### 高齢者あんしんサポート事業

親族の支援が受けられないひとり暮らしの方と事前に契約し、入院・入所時に保証人に準じた支援を行います。判断能力の低下や、死後の葬儀・手続きなど、将来直面しうるリスクに備えた、いざというときに安心できるサービスです。

※契約後のサービス（支援）は原則として利用料がかかります

問い合わせ 電話 042-373-5677 FAX 042-373-5612

## 福祉に関する普及啓発事業

多摩市で活動する福祉団体やボランティア団体の活動紹介や活動内容に関する体験、地域福祉に貢献された方々の表彰などを通じ、幅広い世代の方々に「福祉」についての関心を持っていただく機会として、様々な啓発事業を行っています。

### 福祉フェスタ

多摩市および近郊で活動する福祉団体が参加する催しで、小学校跡地を会場とした「福祉まつり」を前身としています。各団体による発表や体験企画、自主製品の販売、各種講演会などを通じ、楽しみながら身近に福祉を感じてもらい、福祉団体と参加者の交流を深めるために開催しています。



ボランティア団体や福祉作業所による  
「ミニ手話教室」「機織り体験」に参加する子ども達



介護用品の展示・相談の様子

### 福祉大会

長年にわたって多摩市における福祉活動を継続されている方や団体、多額または継続的な寄付により多摩市社協の行う福祉活動への支援を行われた方など、多摩市の地域福祉の向上に寄与された方々の功労を表彰するとともに、その功績を広く皆さまに知っていただくため開催しています。



問い合わせ 電話 042-373-5611

FAX 042-373-5612

## 多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会

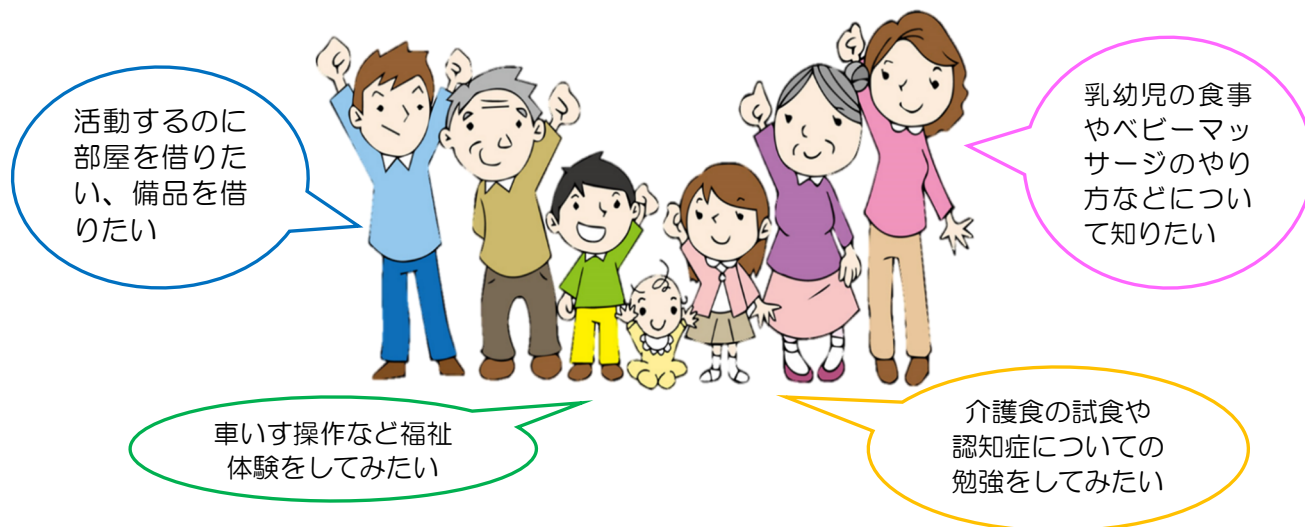
多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会は、多摩市内の社会福祉法人が相互に情報交換を行い、地域のニーズや課題を受け止め、社会福祉法人等の連携・協働による地域における公益的な取り組みを行っています。

### 各種貸出事業

地域福祉活動や、地域交流事業などの会場として、一時的に各法人施設・事業所の会議室や交流スペース等の貸出、福祉活動・事業に役立つ各施設の機材・器具等の貸出、各法人施設・事業所内の掲示板を利用し案内等のチラシを掲示、一時的に車いすが必要になった方へ無料で車いすの貸出などを行っています。

### 地域出前事業

地域の学習会や、学校での福祉学習、企業・事業所での社員研修などに、職員を派遣して専門知識を活かした講義や相談を行います。



### その他

フードドライブの取り組み、福祉職場の就労希望者と求人事業所が直接面談する機会「福祉のしごと相談面接会」の開催、共同募金への取り組みなども行っています。

問い合わせ 電話 042-373-5611 FAX 042-373-5612

## 社協活動の財源確保に関わるイベントなど

各種イベント参加者の皆さまにご協力いただき、チャリティ金や売上金によって多摩市社協が行う地域福祉活動の充実を図っています。

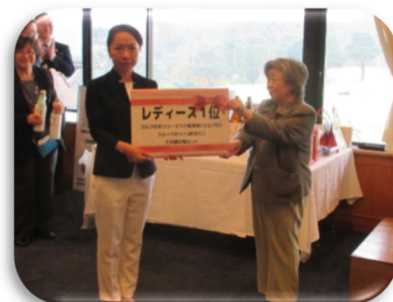
### チャリティゴルフ大会

ゴルフをプレーされる方であれば年齢や住所を問わず参加いただけ、大会への参加費（チャリティ金）や事業所によるご協賛などを通じて、ゴルフを楽しみながら地域福祉への貢献が可能なチャリティ事業です。

東京国際ゴルフ倶楽部(旧：東京国際カントリー倶楽部)を会場としてスタートし、現在は桜ヶ丘カントリークラブ・府中カントリークラブご協力のもと年2回開催しています。



桜ヶ丘カントリークラブにて  
プレー開始の1枚



府中カントリークラブにて  
表彰式の様子

### 福祉バザー

地域の皆さま・事業所から「使わなくなってしまった未使用の品」をご寄付いただき、必要とする方へ安価で販売しています。



### 被災地復興支援活動など

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市の支援のため特産品の「牛タンつくね」などを購入。福祉フェスタやボランティアまつりなどで販売し売上金を送金するほか、現地の方を招いての講演や交流事業などを行いました。

問い合わせ 電話 042-373-5611 FAX 042-373-5612

## 会員加入（会員賛助金）

多摩市社協は、地域の皆さまと連携・協力しながら、「つながり 支えあい 安心するまちづくり」の実現を目指しています。多摩市社協の活動にご賛同いただいた皆さまからの会員賛助金や寄付金を財源として「福祉のまちづくり」のための地域福祉活動を推進しています。

**地域での支えあいの仕組みづくりに**

- ご近所福祉活動応援助成金  
～自治会・住宅管理組合が行う福祉活動への助成
- たすけあい有償活動
- ふれあい・いきいきサロンへの助成



●地域福祉推進委員会  
～住民の皆さんと連携して地域の課題を相談・解決

**ボランティア・市民活動に**

- ボランティアの派遣
- ボランティア講座や市民活動の支援



●災害ボランティア ●フードドライブ事業センターの設置



皆さまからの  
会員賛助金の使  
いみちを紹介

**福祉情報の提供**

- ふくしたより
- ボランティア通信
- メールマガジンの配信 など

～ホームページや広報誌で身近な福祉情報をお知らせしています。

多摩ボラセン  
メールマガジン



多摩市社協  
メールマガジン





**身近な相談窓口**

- 福祉なんでも相談
- ボランティア相談
- ふくし法律相談
- 福祉サービスに関する相談 など



## 寄付金

寄付は年間を通じて受付しております。

一般寄付：社会福祉事業に活用します。

指定寄付：小地域福祉活動、ボランティア・市民活動支援、子ども・若者の支援などの用途で活用します。

多摩市社協へのご寄付は、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

問い合わせ 電話 042-373-5611 FAX 042-373-5612

## 共同募金運動

毎年10月から12月末まで、地域の皆さま・団体にご協力いただき全国的に実施される募金活動です。共同募金運動には「赤い羽根共同募金」と「地域ささえあい（歳末たすけあい運動）募金」があります。

### 赤い羽根共同募金（東京都共同募金会多摩地区協力会として実施）

保育園、障がい者施設・団体、高齢者施設などの福祉施設・団体を支援する募金です。

### 地域ささえあい（歳末たすけあい運動）募金

社会福祉協議会が実施する、地域の福祉活動を支援するための募金です。



## 車いすの無料貸出

多摩市にお住まいで車いすを一時的に必要とされる方に、無料で車いすの貸出を行っています。事前に下記にて空き状況をご確認の上お申し込みください。（恒常的な貸出利用、数ヶ月にわたる長期の貸出についてはお断りさせていただく場合があります）

## 貸付事業

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な、低所得世帯や障がい者・介護を必要とする高齢者のいる世帯に、明確な利用目的に応じた必要な資金貸付を行います。貸付には一定の条件がありますので、詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ 電話 042-373-5611 FAX 042-373-5612



## 障がい者地域活動支援センター「あんど」

(障がい者福祉センター)

地域活動支援センター「あんど」は、市内在住の障がいのある方の活動拠点です。デイサービス、入浴サービス、水浴訓練事業、各種講座や講演会の実施のほか、日常生活の困りごとや将来への不安、福祉制度の利用等、専門スタッフが様々な相談に応じています。

人と人をつなぐ「and」とホッとできる「安堵」。  
2つの「あんど」が込められているキャ。



♥ 「あんど」ではこんなことを行っています ♥

### ★障がい者デイサービス

機能回復や社会適応の活動の機会

### ★入浴サービス（通所/訪問）

自宅での入浴が困難な方へ

### ★水浴訓練室事業

水中での機能訓練  
や施設貸出（個人  
/団体での利用）



水浴訓練室

### ★趣味や運動の講座

パソコン講座、体操教室、  
カラオケの日など

### ★専門相談の実施

「聞こえと補聴器の相談会」  
「言葉のこと相談」  
「パソコン相談」  
「親なきあと個別相談」

### ★高次脳機能障害の方への支援

「ほのぼの」「桜プラス（女性限定）」などの  
グループ活  
動で仲間づ  
くり



問い合わせ 電話 042-356-0307 FAX 042-356-1155



## 同行援護事業

多摩市にお住まいの視覚障がいのある方に対して、同行援護従事者（ガイドヘルパー）を派遣して、移動時や外出先等での移動の援護や介助、代読や代筆などの視覚的情報の支援を行っています。

利用には、事前に多摩市に利用申請し認定を受ける必要があります。

問い合わせ 電話 042-373-5791 FAX 042-373-5792



電車内の誘導について  
(従事者研修)

## 意思疎通支援事業

多摩市にお住まいの聴覚障がいのある方等に対して、手話通訳者・要約筆記者を派遣して、手話通訳・要約筆記による意思疎通の手段の提供を行っています。

利用には、事前に多摩市役所障害福祉課で利用登録申請が必要です。



問い合わせ 電話 042-373-5793 FAX 042-373-5792

## 広報活動

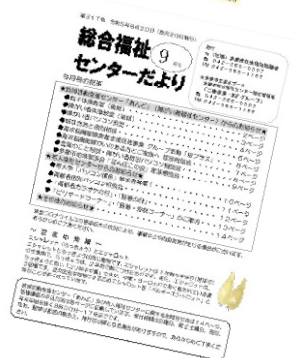
### ふくしだより

多摩市社協の地域福祉活動や講座・催し物のご案内、地域の福祉の取り組みなど、各種情報を掲載し、多摩市内全戸に配布しています。隔月の奇数月15日発行。



### 総合福祉センターだより

地域活動支援センター「あんど」(障がい者福祉センター)や老人福祉センターからのお知らせなどを掲載しています。毎月20日発行。



### ボランティア通信

講座、ボランティア情報や活動報告などを発信しています。毎月第一木曜日発行。



### 多摩市社協・多摩ボラセン メールマガジン

多摩市社協や多摩ボラセンの福祉情報・ボランティア情報などをわかりやすくタイムリーにお伝えするために、毎月メールマガジンを発行しています。

ご登録は  
こちらから



### 多摩市社協ホームページ (<https://tama-shakyo.jp/>)

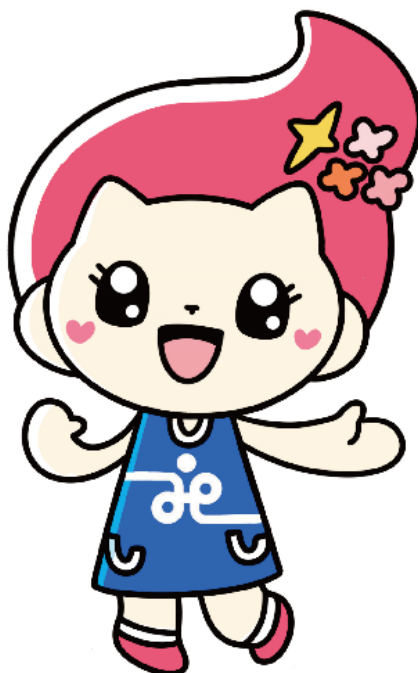
各種福祉情報を随時更新して発信しています。

ホームページは  
こちらから



## はじめまして! 「たまふくちゃん」です!

多摩市社協法人化 50 周年記念として多摩市社協の新しいマスコットキャラクター「たまふくちゃん」が誕生しました! これから、広報紙等様々なところで活躍いたしますので、末永くよろしくお願いいたします。



### 編集後記

本年度、法人化 50 周年を迎えるにあたり、職員で構成される 50 周年記念事業プロジェクトチームを中心に総務部会での意見を踏まえて、50 周年記念事業の企画・検討を進めました。

また、本記念誌は、メッセージや写真撮影等、多くの関係者の方・団体にご協力をいただきながら、この 10 年間の度重なる災害の発生や新型コロナウイルス感染症等の出来事、多摩市社協の新たな地域福祉の取り組みや災害支援、子ども若者支援の取り組みを振り返りつつ作成いたしました。

多摩市社協法人化 50 周年の一つの記録として、ぜひご覧いただければ幸いです。

発行にあたり、ご祝辞、ご協力いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

○総務部会：河 幹夫、嶋貴真人、関戸達哉、岩松義男、熊谷秀行、小林義治、原田恭子、吉村 宏

○50 周年記念事業プロジェクトチーム：川辺一成、大久保雅司、藤原大助、立山裕子、石井真紀子、千島志保

○事務局：法人管理課総務係

社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会 法人化 50 周年記念誌

令和 6(2024)年 2 月発行

編集・発行：社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会

〒206-0032 多摩市南野 3-15-1 二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ内

電話 042-373-5611 (代表)

# 広 告

訪はりきゅう  
問マッサージ



からだ元気治療院  
多摩店

痛み・しびれ・こわばり、  
麻痺・筋力低下など

通院不要！  
ご自宅で施術を受けられます

ご訪問する施術師は全員、国家資格保有者です

病院と同じで健康保険証が使えます  
(※保険適用には医師の同意が必要です)

まずはお気軽にお電話ください  
**042-401-9436**

高齢者総合福祉サービス

社会福祉法人 **楽友会**



人と人を笑顔でつなぐ

地域でも、ご自宅でも、施設でも。  
毎日を笑顔で過ごすお手伝いをいたします。

見学予約 空室確認 などまずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ  
受付時間 平日9:00~17:00

**042-374-4649**

<https://www.rakuyuukai.com/>

京王永山駅・小田急永山駅から徒歩1分



永山健康ランド

**竹取の湯**



営業時間 朝**9:00**~翌朝**8:30**

お問い合わせは **042-337-1126**

未来へNAVIするライセンス  
**東急自動車学校**



総合自動車教習所

四輪・二輪完全に分離された都内最大級のコースで所内いながら  
実践的な教習、安全運転のためのテクニックも身につきます。

**高齢者講習予約受付中!**



送迎バス合衆から運行中!



ニューライフのベストパートナー

**株式会社 多摩ニュータウンサービス**

建築・土木・造園

〒206-0033 東京都多摩市落合6-15-6

TEL 042-371-1831(代) FAX 042-376-7441

ホームページ <http://www.tamanew.com/>

一般事務用品・事務機 OA 用品・印刷・法令様式

文具の

**ノタイコー**

☎042-375-6750 ☎042-375-2508

多摩市関戸 2-39-9 FAX.042-374-2411

E-mail:info@ti5.co.jp <http://www.bungu-taiko.com>



# 不用品回収受付

家電製品の処分、引っ越しの整理、遺品整理  
粗大ごみの処分、ゴミ屋敷お片付けもごさいます。

# お掃除全般受付

エアコン、キッチン、バス、トイレ、床、壁など

年中無休・24時間対応 <https://worldsystems.info>



株式会社ワールドシステムズ ☎ 080-9457-3155

東京都多摩市落合 3-5-2 ✉ info@worldsystems.info

～昭和54年 多摩市で創業～  
今までも、これからも、地元根差して。



当社管理賃貸物件一例

多摩市 不動産 管理・仲介

☎ 0120-611-135

都市農住事業株式会社 都市農住 検索

東京都知事免許(12)第38958号 東京都多摩市落合1-2-5  
多摩センター駅より徒歩3分 多摩ニュータウン通り沿い デニーズ多摩センター店1階

多摩市の福祉推進は、地域の皆さまにご支援をいただいております。

本誌発行にあたり、広告掲載のご協力ありがとうございました。



# たまふくちゃん



多摩市社会福祉協議会  
法人化50周年記念  
マスコットキャラクター